

入札説明書等に対する質問回答書
「筒森（杉戸）林道改良工事（R6 補正）」

質問事項	回答事項
土砂の仮置きについて 掘削関係の土砂や軟岩を仮置きする場所が必要だと考えられるが、それについてどう考えているか。 仮置きするならば、運搬（往復）・仮置き場での盛土費用について協議願いたい。	掘削残土は、現地の林道路面に積上げる計画としており、新たな土砂の仮置き場を設ける予定はしていないが、工事の施工に支障があり仮置き場の設置が必要と認められる場合は、監督職員に協議願いたい。
生コン車の設計サイズについて 生コンの大型車両が通行できないため、小口割り増しでの計上を協議願いたい。	積算価格は、4t車による運搬（小型割り増しを計上）の見積単価を採用している。
車両の回転場について 車両の回転場が必要だと考えられるため、作成について協議願いたい。	現場付近は、狭隘な幹線林道であり回転場の設置が限定されると思料するが、通行の安全を確保する必要があるため、近隣に可能な場所があれば検討することとした。
敷鉄板の設置撤去について 作業ヤードと回転場には敷鉄板が必要と考えられるため協議願いたい。	敷鉄板の設置が必要と認められる場合は、監督職員に協議願いたい。
導線の路面補修について 施工箇所までの導線について、路面補修を行わないと車両の通行ができないため、補修について協議願いたい。	本工事の施工にあたり、通行に支障がある場合には、監督職員に協議願いたい。

擁壁工における施工方法について 擁壁工の施工について、横断図を確認したところ、擁壁工の背面掘削の想定線が道路のセンターに近接する形になっている（特に測線 SP=1.5）。その場合、設計の 0.45 級バックホウでは上部からの施工はバックホウの設置幅の関係で困難と考えられますが、設計段階では掘削・コンクリート打設についてどのような施工方法を想定しているかお教え願いたい。	擁壁工の掘削については、EP 側から BP 側に対し、0.45m³ 級のバックホウで掘削を行うこととしているが、幅員の狭隘な部分は SP=1.5m の一部であり、施工は可能であると思料する。また、コンクリート打設は、バックホウのクレーン打設を計画していたが、コンクリートポンプ打設に変更する。 なお、本内容と施工計画書に乖離がある場合には、監督職員に協議願いたい。
擁壁工施工箇所の安全対策について 擁壁工の施工箇所を確認したところ、逆側の山からすでに道路上に落石の痕跡が確認できました。施工の際、作業の振動等による崩落・落石の危険が考えられるのですが、現状の安全対策について方策が考慮されているかお教え願いたい。	現状では、落石に対する安全対策は考慮していない。